

ふるさとって呼んでもいいですか

6歳で「移民」になった私の物語



ナディ/著

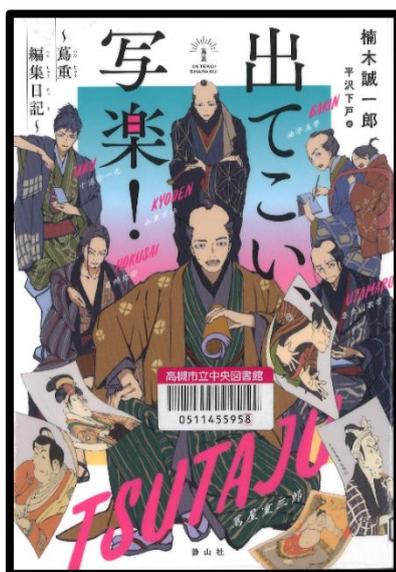
大月書店 [334]

ナディが家族でイランから日本に来たのは6歳の時でした。言葉が通じない不安を和らげるため、覚えたのは「ニコッ(笑顔)」と「ペコリ!(おじぎ)」です。

ナディにとって日本はどのように見えたのでしょうか。素直な言葉で語られます。みんなと同じ子どもなのに同じじゃない、そんな壁に何度もぶち当たりながら、ナディは成長していきます。

人とのちがいに悩んでいる人にも、きっと力を与えてくれるでしょう。

出てこい、写楽! ~蔦重編集日記~



楠木 誠一郎/作

平沢 下戸/画

静山社[913クス]

蔦屋重三郎は江戸の版元「耕書堂」の主。写楽の浮世絵の本が大人気で、今や売り切れ状態です。重三郎は早く写楽に新しい絵を描いてほしいと頼みます。

ところが突然、写楽が引きこもりになってしまい、困った重三郎は、北斎に写楽のまねをして描いてもらおうと考えます。

写楽が姿を消したことの謎を、作者が想像して作り上げた物語です。歌舞伎や相撲などの解説もあり、江戸文化を楽しめます。

シェフでいこうぜ！



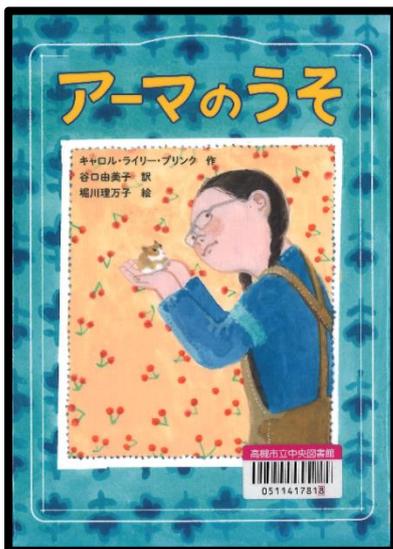
かみじょう
上條 さなえ/作
いそざき ちか
磯崎 圭/絵
国土社〔913カミ〕

大斗は料理を作るのが大好きです。大斗のお父さんは、最近ねむってばかりで元気がありません。大斗は、そんなお父さんを励まそうと、ふるさと沖繩の料理「てびち」作りにチャレンジします。

お母さんや友達などたくさんの協力を得て、納得のいくおいしい味に仕上がるまで何度も作り直します。

お父さんのために一生懸命がんばる大斗の姿に元気をもらえます。

アーマのうそ



キャロル・ライリー・プリंक/作
たにくち ゆみこ
谷口 由美子/訳
ほりかわ りまこ
堀川 理万子/絵
文溪堂〔933ブリ〕

アーマは、新しい学校に転校してきたばかり。同じクラスのジュディに声をかけられ、自己紹介で思わず「世界一大きい人形を持っている」と、うそをついてしまいました。

そのうそをジュディが信じ、とうとう学校のお祭りで、アーマの人形を展示することになってしまいます。

アーマはみんなにうそがばれずに、世界一大きい人形を用意できるのでしょうか。